

加古川市指定ごみ袋のデザインについて

7つのポイント解説

① ⇒

ごみを入れすぎると袋をしばった後にウェルピーが隠れてしまいます。ウェルピーが見えているのが適量になり、収集する際の目印にもなります。

② ⇒

「燃やすごみ」を6か国語で表記しています。（英語、ハングル、中国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語）

③ ⇒

ウェルピーが指さしている「ライン」は、このラインまでのごみなら、一回り小さいサイズでも納まることを示しています。このラインを意識することで減量につながります。

④ ⇒

一部の町内会では、氏名や部屋番号等を記入しており、そのための枠ですが、全市的に名前の記入を義務付けるものではありません。各地域によって柔軟に活用することができるよう、「氏名」等を入れず枠のみ印刷しています。

⑤ ⇒

ごみ出しのルールについて、英語でも表記しています。英語の下には「燃やすごみ以外は入れない」「事業系のごみは出せない」ことを記載しています。

⑥ ⇒

ごみの減量と資源化について意識していただくために、リサイクルできるものの分別や食品ロス削減、生ごみの水切りを呼びかける啓発文を印刷しています。

燃やすごみの減量にご協力をお願いします！

- 「資源化できる紙類」や「剪定枝・落ち葉・草」は分別して、資源の日に出しましょう。
- 食べ残しや賞味期限切れで、本来なら食べられるはずの食品を捨ててしまうことがないように注意しましょう。
- 生ごみは水分をよく切ってから入れてください。

⑦ ⇒

事前申請のうえ承認された製造事業者の承認番号です。

